

## 2022年度JKA補助事業 事業費(公益)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限：2024年6月28日(金)

・提出先：p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp

### ≪JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について≫

\* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

\* **水色箇所**が記入箇所となります。

\* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

### 2022年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

### 【記入にあたっての注意点】

整理番号	2022P	-	010	補助事業者名	(公財) ○○○○	補助事業名	自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業
------	-------	---	-----	--------	-----------	-------	--------------------------

**2022年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)**

項番	1	/	総事業項目数	1	補助事業項目名	ツール・ド・○○○の開催
----	---	---	--------	---	---------	--------------

作成日	2024	年	5	月	15	日	作成者	競輪 太郎
-----	------	---	---	---	----	---	-----	-------

1. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5)4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。

○採点基準については、2022年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』p27,28「自己評価スコアリングガイド」をご参照ください。

(2) 事業内容	事業の発展性	ツール・ド・○○○を開催し、出場者だけでなく多くの観戦者に来ていただけたことで、自転車競技の認知向上を図ることができた。また、開催にあたり、地元企業や学校、商店街等との連携を行ったことで○○市が推進する自転車を通じたまちづくりに寄与できた。また、全体の○割が遠方からの出場者や観戦者等地元以外からの参加となったことで、地域経済の活性化についても寄与できた。			採点	4
(3) 達成目標	事業の成果・波及	※自己評価1回目から変化があった場合に記入してください。	達成値	達成状況	具体的内容	採点

◆整理番号、補助事業者名(法人名)、補助事業名を記入してください。

◆事業項目が複数ある場合は、何項番目の事業かご記入ください。  
例) 事業項目が2つあるうちのひとつめの事業の場合 → 項番:1、総事業項目数:2 となります。

◆事業項目数が複数ある場合は、項番それぞれの事業項目名を記入してください。

◆この自己評価書の作成日、作成者を記入してください。

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。  
採点欄については、スコアリングガイドを参照の上、採点してください。  
(点数はプルダウンで選択できます)

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。  
**!! 注意 !!** ・【達成値】現時点での「実績値」を記入してください。  
・【達成状況】のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2/5)3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、現時点での達成状況をご記入ください。(過去年度から継続して実施している事業の場合は、それも踏まえてお書きください。)

国内外のトップ選手を招聘することができたことにより、レベルの高いレースを見ることができた。実際に見ていただくことで、自転車競技への関心が高まり、市内に新たにサイクルスポーツのクラブチームが発足するなど、最終的に目指すこととする自転車競技の普及促進及び自転車競技者の裾野拡大にも貢献できた。  
また、〇〇市民のこのレースに対する認知度が〇割を超え、目標に達した。今後も、効果的なPRの実施やレースの魅力を高めるような取り組みを行い、より一層の自転車競技の認知度向上や自転車競技者の増加を目指したい。

◆交付誓約書添付の事前計画／自己評価書(2/5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

2. 当該事業について、メディア等で紹介された事例がありましたら教えてください。

〇〇〇テレビにて生放送、ネットでもライブ中継を行った。  
【事業についての掲載】  
・新聞…〇〇新聞5回(2022/〇/〇、〇/〇、〇/〇、2023/〇/〇、〇/〇)、△△新聞3回(2022/〇/〇、〇/〇、2023/〇/〇)、  
・テレビ…NHK〇〇版(夕方ニュース 2022/〇/〇)  
・雑誌…〇〇〇〇(〇月号 自転車専門誌)、△△△△(〇月号 スポーツ誌)  
・Web…HP 〇回更新  
・その他…市の会報 〇月号

◆今回、補助事業として実施した事業について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。  
特になければ「特になし」と記入してください。

3. 今後、事業の継続や同様の活動等を行う予定があればお知らせください。

今後もツール・ド・〇〇〇〇の開催を継続していく予定。  
また、これまでのレース内容にプラスして、新たにシクロクロスやパラサイクリングレースなども行いたいと考えている。

◆今後、今回補助事業として実施した事業を継続する予定や、同様の活動を行う予定があればその内容を記入してください。

4. 事業分野を取巻く状況や課題をお聞かせください。  
また、JKA以外で今回と同様な事業に対し、助成を行っている補助団体についてご存知であれば教えてください。

自転車レースを開催する自治体が増えている中、地域との連携をより密にし、この地域ならではの魅力を持つレースを作り上げていく必要がある。  
また、まだまだ自転車レースに対する世間一般の関心は高いとは言えないが、実際にレースを見ることで関心が高まるのが検証されたので、より多くの人に足を運んでもらい、認知度の更なる向上を目指す必要がある。  
  
助成を行っている団体はJKA以外、把握していない。

◆今回実施した事業の問題や課題等を記入してください。  
また、国の施策等による影響などがありましたら併せて記入してください。

◆補助を受けたことがある・ないに関わらず、今回と同様の事業に対し助成を行っている補助団体をご存知であれば、その団体名を記入してください。

5. 上記1～4の補足や、JKAに対するご要望等がありましたら、ご記入ください。

自転車レースがより世間一般の人にとって身近なものになるよう、魅力的なレースを作り上げていきたい。  
そのためにも今後も自転車レースへの補助を行ってほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。 p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。